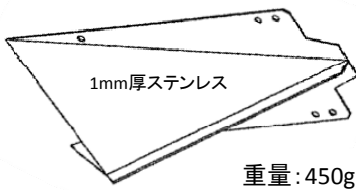


高精度直播機に取り付ける作溝装置がシンプルに生まれ変わりました！

【新しい作溝装置のメリット】

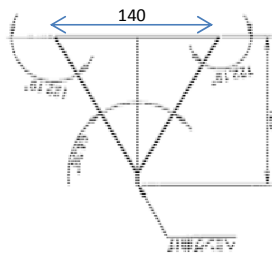
- (1) ステンレス製部品は軽量で低コスト、1ピースのシンプルデザインでも強度は十分。取付も簡単。
- (2) 溝は深さ重視でメリハリのある溝形状、作業時の田面へのフィット感良好。
- (3) 側条施肥機能付きの直播機にもそのまま装着OK！複数メーカーの機種に対応。
- (4) 鉄コーティングの条播栽培にも適応できます。

新しい作溝装置って？



重量: 450g

部品の外観



部品の断面・寸法

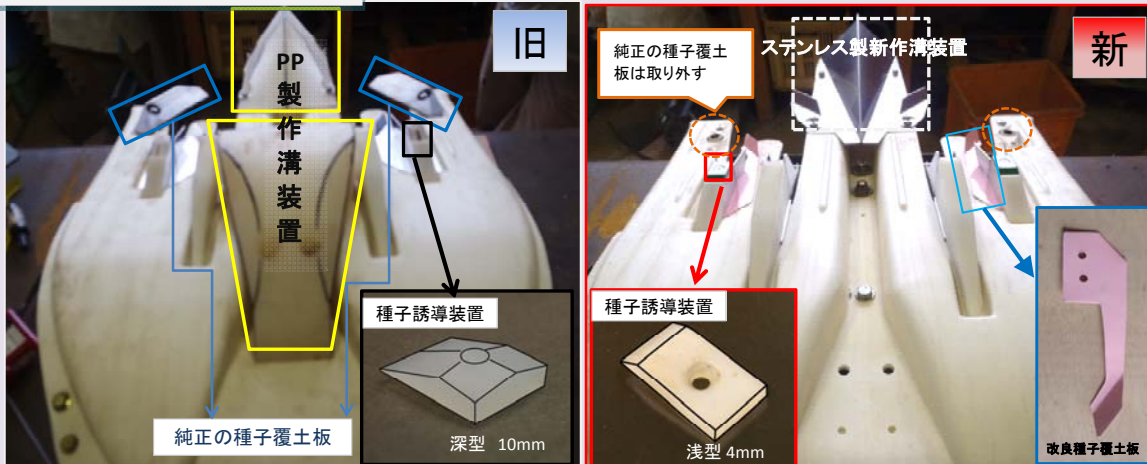


播種作業風景

新型作溝部品の図面

1ピース重量 450g (1mm厚ステンレス製) と軽量で、低コスト (1セット当たり2~3万円程度) です。1部品のみをフロート下部後方に装着 (フロートへの穴開け (φ6.5mm 6個)、ボルト・ナット止め) するだけなので、とても簡単です。

従来の装置との違い



新作溝装置を取り付けたフロートの底(左側が従来の作溝装置)

- ・ 種子誘導装置は浅型 (4mm) のタイプを uses。
- ・ 播種時の田面土壌硬度は、1mの高さからのゴルフボール貫入深で平均-0.5~1.0cm かつ±1cmの範囲に収めることが望ましいです。
- ・ 田面が硬めの場合、改良種子覆土板に付け替えることにより覆土の精度を高めることができます。